



イギリスより専門家来日

2025年9月15日（月・祝）

13:00-16:30

大阪市立自然史博物館

国際シンポジウム

大阪湾岸「いのち輝く」を未来へ

～はじめよう！

連携が生み出す 豊かな生物多様性～



40年以上前に市民運動から生まれた先駆的な人工干潟・大阪市 南港野鳥園 2025. 7. 25撮影

基調講演

*敬称略

「沿岸域のネイチャーポジティブとは」

道家 哲平（国際自然保護連合日本委員会会長）

特別講演

「渡り性水鳥の危機的状況と大阪湾の重要性」

ニコラ・クロックフォード（英国王立鳥類保護協会主任役員・シギチドリ研究員）

「沿岸生息地再生に関する国際的な事例研究から大阪湾を考える」

ジェフ・キュー（英国王立鳥類自然保護協会・湿地再興アドバイザー）

パネルディスカッション

「大阪湾岸の生物多様性を高めるために」

パネリスト：講演講師3名・納家 仁（日本野鳥の会大阪支部長）ほか

ファシリテーター：佐久間 大輔（自然史博物館）

日時：9月15日（月・祝）

13:00-16:30（開場12:30）

会場：大阪市立自然史博物館 講堂

06-6697-6221(担当：佐久間)

monitor@omnh.jp

アクセス：大阪Metro御堂筋線[長居]下車
徒歩800m

申し込み：不要（定員170名）

参加費：無料（博物館入館料必要）

言語：日本語・英語（通訳あり）

※ライブ・アーカイブ配信

YouTube@大阪市立自然史博物館

問い合わせ：

シンポジウム開催事務局

npsympo2025@nature.or.jp



おおさか生物多様性

共催：国際自然保護連合日本委員会、（公財）日本野鳥の会、（公財）日本自然保護協会、（公財）世界自然保護基金（WWF）ジャパン、（公社）大阪自然環境保全協会、日本野鳥の会大阪支部、大阪市立自然史博物館

後援：日本景観生態学会、応用生態工学会、自然環境復元学会、日本緑化工学会、日本生態学会、環境社会学会、環境科学会、環境アセスメント学会、関西自然保護機構

このイベントは2025年度環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています。助成名「SDGs万博市民アクション」

